

2011（平成23）年臨時「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2012（平成24）年9月8日 午後2時より
会場 目黒パーシモンホール1階、レストラン「コミュニケーション・ナチュレ」
出席 理事・監事・評議員116名中、出席23名、欠席31名、
返信なし57名、住所不明5名
議長・宍戸理事長、 司会・北原常務理事

議事

<報告>

1、 会報編集委員会より

2012年12月発行予定の同窓会報について、8ページで予算を組んでいるが12ページになる可能性があることを報告。620千円の予算増額の承認を得た。

2、 八雲が丘学友会について

現在、府立高校同窓会と都大附高同窓会の役員6名が理事、桜修館中等教育学校校長、副校長および桜修館PTA役員計5名が顧問となっており、4半期に1回程度の開催している会議の内容を報告。学友会会則について紹介。都大附高同窓会としての今後の関わり方について討議した。

3、 会費収納状況について

昨年の会報発行と同時に開始した会費の、会員による納入状況があまり良くないことを報告。改善策について意見を出し合った。

<議事・討議>

1、 財政確立と会費徴収について

報告にもある通り、このままの会費納入状況では、いずれ同窓会の運営に支障をきたすところが明らかであるところから、会費の徴収方法の拡大を図る。現在は「郵便振替」のみだが、「ネットバンク納付」「コンビニ納付」の追加を検討することを承認した。

2、 同窓会会則の細則について

10条の一部を削除変更のうえ、承認した。

3、 同窓会の具体的な活動について

より多数の同窓生に関わってもらえる同窓会とはどのようなものか、活発な意見交換がなされた。組織的には、期、クラスだけでなく、クラブ活動の縦の関係を軸とした活動が必要なのではないか。理事、評議員の出ていない期に積極的に働きかける必要がある。目に見える会活動がないと会費を払おうという気にならないだろう。などの意見が出され、理事長委嘱による理事をふやすことも含め、会活動の活発化の具体的な方策を探っていくこととなった。

<以上>